



〔2018年1月25日発行 会報第913号〕

〔今週のプログラム〕

〔2018年1月25日 第913回例会〕

卓話 「環境ビジネス」

担当：岸上 和典会員

〔次週のプログラム〕

〔2018年2月1日 第914回例会〕

卓話 「上海・南京紀行」

担当：木下 健治会員

〔第912回例会 (2018年1月18日) の記録〕

〔<会長の時間>〕

水本 徹会長

数年前に流行りました「トイレの神様」という歌を皆様は覚えてられると思いますが、本日の会長の時間はその歌の基になったのではないかという話です。

ある山寺に一人の学者が泊まった。

翌朝出発しようとしたとき、見送りに出てきた小僧を見てその学者は驚いて言った。

「そなたは昨晚見た時には死相があらわれていて、三日のうちに死ぬ運命だった。

それを言ったとてそなたには何の利益にもならぬことなので、黙っていたのじゃが、今そなたを見ると不思議なことに 80 まで生きる顔になっている。そなたは昨晚から今朝にかけて何か途方もない善い事をしたのではないか。包まず話さない。」

小僧は驚いて、「いいえ、別に善い事はしておりません」

「いや、なにか善い事をしたはずだ」

「すると便所掃除でしょうか。昨晚便所に行ったらひどく汚れておりました。

ああ汚いと思った時、ふと母の顔が浮かんだのです。

私が赤ん坊の時、母は汚いとも思わず、汚れを浄めてくださったのだと思い、それで私は便所掃除をしました。

そのほか善い事などしていません。」

学者は「それだ、そのためそなたは 80 まで生きることになったんだ」

といって合掌して小僧を拝んだという。

これは、350 年前の話です。

西有禅師は 20 代の頃、当時有名な手相見から 30 で死ぬといわれ、それから猛烈な修行生活に入ったがこの話に感動し、便所掃除を欠かさなかった。そして長寿はそのおかげと堅く信じていた。

<お客様> なし

<出席報告> 岸上 和典出席担当  
会員数（内出席免除会員1名） 20名  
本日の出席者数 14名  
（内出席免除会員1名 名誉会員0名）

本日の出席率 70.00%  
前々回（1月4日）は定款に基づく休会

<ロータリー・ソング> 全会員  
♪唱歌 冬景色

<本日のピアノ曲> 近藤 美里さん  
♪初氷  
♪雪の華  
♪めぐりあい

<幹事報告> 山本 友亮幹事

1. ロータリー囲碁同好会より「第19回ロータリー国際囲碁大会」開催の案内がまいりました。参加申し込みは専用FAXへお願いいたします。
2. 池田名誉会員の著書『屋根の上の怒れる神たち』を希望される方は事務局に若干の残部がありますので、お知らせください。

<SAA 報告> 松田 親男 SAA

※スマイルボックス

村田会員 渡邊委員長、フォーラム楽しみです。

黒川会員 紅梅が三分咲き。

※ロータリー財団

水本会員 職業奉仕フォーラム。渡邊委員長宜しくお願いします。

松田会員 早退のおわび。

黒川会員 木下健さん、火曜日はありがとう!!

相原会員 コメント無し

※米山記念奨学会

黒川会員 今日はあったかいね!!

藤田会員 今週は暖かいですね!! 次週は?

山田会員 新年あけました。遅ればせながら、今年もよろしくお願ひ致します。

木下(健)会員 今日は暖かいですね。

相原会員 コメント無し

※メイプル基金

黒川会員 卓話（渡邊会員）をよろしく!!

松田会員 春のような暖かい一日でした。

水島会員 渡邊委員長、本日はよろしくお願ひいたします。

藤田会員 渡邊委員長、本日宜しくお願いします!!

山本(友)会員 本日、渡邊委員長よろしく御願ひします。

・奉仕の理念

奉仕は相手のニーズを満たすことで、ニーズとは、その人に本当に必要なものである。

その人の欲求のみを満たす行為はニーズに応えたとは言えず、どうしてあげることが本当に相手にとって為になるのかを考えなければならない。

・ロータリーの第一標語「超我の奉仕」

相手の幸せは自分にとって喜びであるという自分の存在を認めていることにあり、自己犠牲や滅私奉公ではない。相手のニーズをさぐり、相手に思いやりをもって尽くすことがロータリーの理念である。

・ロータリーの第二標語「他人の最も良く奉仕する者は最も多く報われる」

シェルドンは、当時の商いの世界の頹廃した中であっても、例外的に公明正大な経営方針を堅持している商人が結局において成功している事実を発見して、その理由を探究した結果、「他人の立場を考え、他人のためになるように尽くすこと」という結論に至ったと云われています。自らが儲けるために職業に就いているという考えを捨てて、顧客の満足度を最優先しつつ、自らの職業を通じて他人に奉仕をするという考えで事業を営めば、その真摯な態度が顧客の心を捉えて、リピーターとして何度も事業所を訪れ、新規の顧客の紹介へと繋がり、その結果大きな利潤が得られるとともに、その事業所は継続的に発展していきます。事業所は職業倫理を高揚するのではなく、職業奉仕の実践が結果として高い職業倫理につながると言っています。

・職業奉仕はロータリーの根幹

先ずロータリー会員は、第一の奉仕であるクラブ奉仕で会員同士が互いを理解しあい、助け合い、親睦を深めることが大事であり、その中で奉仕の理念を学び、ロータリーの目的をしっかりと認識して行動を行います。ロータリーの様々な活動をみのあるものにするために、また奉仕の理念を実現させるために必要なものが職業奉仕であり、全ての会員はその理念を理解し実践することが重要でありロータリーの根幹をなすものです。

・4つのテストとロータリアンの行動規範

ロータリアンの行動規範は、かつて「ロータリアンの職業奉仕宣言」と呼ばれていたものですが、退職した会員などに配慮して名称、内容等も変更され、現在では4項目のみが行動規範として記されています。ロータリーでは4つのテストと同様に、職業倫理を実践する上で、必要なものとして位置づけられています。

・自ら行う職業奉仕とクラブの奉仕活動

ロータリーの職業奉仕には会員が自分を律し、自分の事業を通じて行う職業奉仕とクラブとして行う地域社会を対象にした職業奉仕活動がありますが、「有償・無償」、「受益者」、「人づくり」という点で区別することで、その違いがはっきりとします。

地域社会を対象にした職業奉仕活動は社会奉仕の意味合いの強い活動ということが分かります。

職業奉仕（自分づくり）は、すべてのロータリー会員が実践しなければならない。

職業奉仕委員会は、会員や地域社会のニーズに応えるため、クラブとしての奉仕活動を行うことが期待されています。 |

<編集後記・追加情報・チョット一言・ライブラリー・etc>

体調不良により、会報発行が遅くなりまして、大変ご迷惑をおかけいたしました。

深くお詫び申し上げます。

(文責 渡邊了允) |